

令和2年度 公立大学法人北九州市立大学評価委員会（第2回）議事要旨

1 開催日時：令和2年7月29日（水） 13：30～15：30

2 開催場所：北九州市立大学 北方キャンパス E-701

3 議事内容

(1) 令和元（平成31）年度業務の実績に関する報告について

ア 質疑応答

○新型コロナウイルスによる授業等の対応について

（委員） 新型コロナウイルスによる授業への影響で、北九大ではインフラができているからこそその対応があると思うが、今の段階で授業のあり方等どのように動いているのか。

（大学） 新型コロナウイルスの影響で、急遽遠隔でやらざるを得ないという状況になった。この状態がしばらく続く可能性もあり、感染者が大学の中で出てくることも予測され、対応等課題はありながらやっている。

○英米学科の受験者数について

（委員） 英米学科の下がり方が大きかったが、その理由と今後どのように対応されるのか。

（大学） 昨年度、新しく学科を開設し、倍増に近い部分で伸びたため、その反動や、近隣で西南学院大学が外国語学部を新しくつくったことによる影響があるのではないかと思われる。今後は、学生が満足している授業であるということを広め、近隣の大学との差別化で、本学の特徴等を知ってもらう必要がある。本学は外国人の先生を非常に多く採用しており、魅力の一つとしてアピールできるのではないかと考えている。

○障害者の就職について

（委員） 障害者の出口（就労）に関してどのようなことを考えているか。

（大学） キャリアセンターで対応はしているが、出口より出口に至るまでのプロセスが重要とっており、障害者に対してのサポートは我々も少し問題意識を持っている。個別に状況が違うため、学習支援としてサポートが必要であり、今年度から「学生支援特任教員」を特別に採用し、サポートをお願いしている。

(2) 「令和元（平成31）年度に係る評価案」の検討